

外国語活動指導案

令和3年11月16日(火) 第5校時 3年1組(教室) 指導者
ALT

授業改善の視点

中間評価の場面において、代表児童のやり取りを全体で共有し、友達がコミュニケーションを図る上での工夫している点を自分自身の活動に取り入れることにより、相手を意識したやり取りを行うことができるであろう。

1 単元名 This is for you. カードをおくろう (Let's try! Unit 7)

2 目標

身の周りの人に自分の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などの欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

3 学びのつながり

○東連携型小中一貫校の指導の重点 ・表現力の系統的な育成 ・主体的な学習態度の育成

【これまでの学び】

【ここでの学び】

本単元では カードを贈る人のことを思い、その人が喜ぶ飾りになるように、欲しい色や形、数などの表現を使ったやりとりをしながら、カード作りを行う。その際、3年生までに慣れ親しんだ表現を想起させたり、毎年行っているクリスマスカード作りの経験を生かしたりしながら、「聞き手」や「カードを送る人」を意識したコミュニケーション活動を行っていく。

【このあとの学び】

本単元での学びを生かし、4年生の Unit 7 What do you want? では、欲しい食材を尋ねたり答えたりしてオリジナルメニューを紹介する活動を行う。本時でのつながりを意識させるために、導入では今回作ったカードを紹介しながら、ここでの What do you want?、～、please. などのやり取りを想起させていく。

4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やり取り〕	色や形などについて、 What do you want? や～ ,please.などを用いて欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	身の周りの人に自分の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などの欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	身の周りの人に自分の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などの欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

5 人権教育との関わり

本教材の映像(世界の国々のグリーティングカード紹介)を通して、世界にはいろいろな国や言語、文化があるが、人が人を思う気持ちは皆変わらないということを気付かせていく。【知性】

カードを作る活動では、身の周りの誰かに自分の気持ちを伝えたいという、相手を思う優しい気持ちをもって取り組ませたり、贈る相手のことを意識させたりしながら取り組ませていく。【感性】

コミュニケーション活動では、相手に伝わるようにジェスチャーなどのコミュニケーション・ポイントを意識して伝えたり、相手の言うことを理解しようとしたりする受容的な態度を育てていく。【実践力】

6 単元計画および指導方針（5時間）

時間	過程	学習活動	評価			指導方針
			知 技	思 判 表	態 度	
1	ふれる	<p>○世界のグリーティングカードを知るとともに、単元全体の活動の見直しをもつ。</p> <p>・誰にどんなカードを作り、何を伝えたいかを考える。</p>			○	<p>・ALT とのスマールトークでは、聞き取れた色や形を児童に英語で言わせることで、既習事項を想起させていく。</p> <p>・本単元でのゴールがイメージできる見本のカードを提示し、児童の意欲を高め、めあてにつなげていく。</p>
<p>単元のめあて：身の回りの人に、自分の気持ちをこめたカードを作っておくろう。</p>						
2	追究する	<p>○色や形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを尋ねる言い方を知る。</p> <p>・キャンディ作りをする。</p>	○			<p>・Let's Chant では、リズムを重視しながらくりかえし練習させる。</p> <p>・Let' Listen では、音声を聞かせる前に、どの作品にはどんな形がいくつ必要なのか、予想させながら取り組ませる。</p>
3	本時	<p>○色や形の言い方、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を活用して、カード作りをする。</p> <p>・カードの飾り作りをする。</p> <p>・欲しい色、形を集め、飾りを作る。</p>		○	○	<p>・各活動を行う際は、「誰のためのカードなのか」を問いかけながら、贈る人を意識させて取り組ませる。</p> <p>・ALT とのデモンストレーションでは、リズムよく受け答えができるよう練習してから飾り集めを行わせる。</p>
4		<p>○色や形の言い方、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を活用して、カード作りをする。</p> <p>・飾りをカードに貼り、グリーティングカードを仕上げる。</p>		○	○	<p>・自分の欲しい色、形が伝えられるよう、ジェスチャーなどのコミュニケーション・ポイントも意識させる。</p>
5	まとめ	<p>○相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介する。</p> <p>・作品の紹介の仕方を練習する。</p> <p>・カードをおくる。</p>	○	○	○	<p>・作品の紹介の仕方をALT とデモンストレーションを行い、活動に対して見直しをもたせる。</p> <p>・児童が自信をもてるように、ペア、グループ、そして全体と発表の場を広げていく。</p> <p>・相手のことを思って作った作品に対しては、全体で共有し、温かく共感的に受け止める雰囲気をつくる。</p>

※ 評価において、印がない箇所は各単位時間において目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

7 本時の学習

(1) ねらい

カードの飾り作りを通して、相手に伝わるように工夫しながら、色や形の言い方、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

(2) つなぎ教材

①教材名 ・Chant 「What do you want?」 ・見本のカード ・キャンデーの飾り


②目的 ・Chant を繰り返し行うことで、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、



活動時の意欲や自信につなげる。

- ・カードを贈る相手を意識させることで、どんな飾りにするかという意欲を高める。

- ③つなぎ方
- ・授業の始めに Chant を取り入れ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませる。
 - ・コミュニケーション・ポイントを黒板に掲示し児童が活動時に参考にできるようにする。

(3) 展開

主な学習活動	時間	指導上の留意点 (◎学びのつながり ※授業中の生徒指導の3機能)	
		担任	A L T (空欄は担任と同じ)
○あいさつをする。	3	◎単元のめあての誰のためのカードなのかを確認し、飾り作りの意欲を高める。	これまで
○前時までをふり返り、誰にカードを作るのか確認する。	3	◎前時の児童のやりとりの様子や、作品を提示しながら、気持ちのよいやり取りについて考えさせ、Today's Goal を示す。	
○本時のめあてを確認する。	4		
<p>【Today's Goal】 相手につたわるようにやりとりをしながら、かざりを作ろう。</p>			
○ 【Let's Chant】 p 27 「What do you want?」 ・欲しいものを尋ねたり、答えたりする言い方に慣れる。	5	◎リズムを重視しながらくりかえし、慣れ親しむようにする。 ◎コミュニケーション・ポイントを意識しながらデモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。	つなぎ教材
○ Activity : カードの飾りに必要な色や形を集める。 ・デモンストレーションを見て、本活動の見通しをもつ。 ・聞いたり答えたりする言い方を練習する。 ・ペアで、欲しいものを尋ねる側と、答える側に分かれて、前半の活動に取り組む。	20	<p>H:Hello. A:Hello. H:What do you want? A:Four pink hearts,please. H:Oh!Four.Ok. H:Here you are. A:Thank you. H:You are welcome. H:What do you want? A:One yellow circle,please. H:Ok.One yellow circle. H:Here you are. A:Thank you. H:You are welcome.</p>	・英語で簡単な質問をし、児童に聞き手や送り手を意識させたり、児童のモデルとなるようなやり取りを行ったりする。
<p>※自分の作りたい飾りにはどの色、形が必要か考え、英語で言えるようにする。〈自己決定〉 ※自分の欲しいものを伝えたり、相手の要求に答えることで形を集めることができ、達成感を得られるようにする。〈自己存在感・共感的人間関係〉</p>			

<p>・モデルとなる児童のやり取りを見て参考にし、役割を交代して後半の活動に取り組む。</p>  <p>○集めた形でできた飾りをペアで紹介し合う。 5</p>	<p>カードを贈る相手のことを考えて飾りを作ろうとしている児童や、コミュニケーション・ポイントを意識してやり取りをしている児童を紹介し、後半の活動に生かせるようにする。 (中間評価)</p> <p>・モデルとなる児童のやり取りを発表させ、工夫に気付かせる。 (ネームプレート)</p> <p>思 カードを贈る人のことを考えながら、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などの欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・ふり返りカード〉</p> <p>主 カードを贈る人のことを考えながら、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などの欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。〈行動観察・ふり返りカード〉</p>	
<p>○ふりかえりをする。</p>	<p>5 ◎次時では、飾りを増やしたり、言葉を入れてカードを仕上げることを伝え、次時への学習意欲を高める。</p>	 <p>このあと</p>

板書計画

Today's Goal: 相手につたわるようにやりとりをしながら、かざりを作ろう。

これまで

カード

キャンデ-の飾り

色カード

形カード

コミュニケーション・ポイントのカード